

ひろお

5

2014年 No.334
平成 26 年5月



第66回通常総会開催される.....	2
新旧役員挨拶.....	3
JAひろお青年部第36回定期総会.....	4
第23回広尾町農協肉牛部会定期総会.....	5
JAひろお年金友の会第20回定期総会.....	6
第45回広尾町農民連盟定期総会.....	7
第19回乳牛ジャッジンゴコンテスト.....	7
第17回広尾町ジュニアホルスタインショウ.....	8
第43回南十勝トラックアップイベントショウ.....	9
外国人農業技能実習生送別会.....	9
十勝酪農フオーラム2014開催.....	10
呼吸器病低減セミナー開催.....	10

平成26年度アルータ十勝展示場オーブンフェア開催.....	11
てん菜のペーパーポット作り行われる	
畑作地に融雪材を散布	
JAひろお年金友の会観劇湯治旅行.....	12
3団体女性部料理交流会	
酪友会婦人研修会.....	13
JAひろお女性部春期講習会	
JAひろお女性部すみれ会健康づくり講習会.....	14~16
理事会	
退職者挨拶	
新規職員紹介.....	17
表紙インタビュー・占い・レシピ.....	18~19
背表紙 (平成25年度農業政策価格要請運動報告)	
.....	20

第66回 通常総会開催される

4月22日、JAひろお第66回通常総会が広尾町農村環境改善センターで開催されました。

当日は来賓として、広尾町長をはじめ、各系統連合会や関係機関などのご臨席をいただき、出席者全員によるJA綱領朗唱後、萬亀山組合長の挨拶で開会いたしました。

広尾町長 村瀬優氏、十勝農業協同組合連合会会長 山本勝博氏、各連合会を代表して全共連北海道本部帯広支所長 山脇剛氏よりご祝辞をいただき、続いて出席者の中から大森康雄さん、浜野隆さんが議長に選出され議事に入りました。

議事では、平成25年度事業報告、収支決算報告や平成26年度事業計画及び



収支予算案などが事務局より説明され、出席された組合員みなさんは熱心に聞き入り、議長のスムーズな議事進行とみなさんのご協力により提出された議案はすべて承認され、終了しました。

総会開催前には、平成25年度広尾町農業振興共励会褒賞授与式が行われ、各部門における最優秀賞および優秀賞受賞者が表彰され、併せて2013北海道ホルスタインナショナルショウ（ホルスタイン種）においてジュニアチャンピオンを獲得された佐藤孝一さんと、第30回北海道肉用牛共進会において未經産の部で最高位賞を獲得された佐藤哲也さんに特別奨励賞が授与されました。

また、平成25年度新規就農者激励状が新規に就農された5組の方々に授与されました。

広尾町農業振興共励会褒賞受賞者

- 酪農経営改善の部
 - 最優秀賞 久保 進
 - 優秀賞 山本 牧場
 - 北藤 敦博
- 乳質改善の部
 - 最優秀賞 成田 芳樹

優秀賞 山川 幸吉・箕田 俊也

- 和牛去勢販売の部
 - 最優秀賞 佐藤 哲也
 - 和牛雌販売の部
 - 最優秀賞 佐藤 哲也

○甜菜の部

- 最優秀賞 南カワサキファーム
- 優秀賞 横田 正彦
- 特別奨励賞
 - 佐藤 孝一 佐藤 哲也

平成25年度新規就農者

- 重泉 有生 重泉 まゆみ
- 鯖江 智幸 斉藤 友紀
- 目黒 大地 角倉 輝



就任のご挨拶



理事 朝日 亮

組合員の皆様には、春耕期を迎え、毎日の農作業でご多忙のことと存じます。

さて、私こと、この度の役員改選にあたり、去る4月22日開催の第66回通常総会において理事に選任いただき、同日就任致しました。

もとより浅識非才であり、理事としての重責を担えるかどうか不安ではありますが、組合員皆様の負託に応えるべく経営の安定化と本町農業の発展を目指し、誠心誠意取り組んで参る所存でありますので、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

現在、我が国の農業を取り巻く環境は、第2次安倍内閣による景気対策（アベノミクス）によって日本全体の景況感が高まってきている一方で、円安の急進などにより輸入生産資材価格が高騰し、とりわけ配合飼料価格の高騰は酪農経営を圧迫し、非常に厳しい経営を強いられる状況が続いております。

また政府によるTPP（環太平洋パートナーシップ協定）における交渉も農業分野における国会決議を遵守するとは言いながら、具体的な交渉内容や経過が明らかにされず、未だ不透明なまま今後の行方が非常に危惧されており、将来に対する不安が広がり、併せて経営主の高齢化と後継者不足による離農が全道各地で増加している状況にあります。

このような状況のなか、目前に山積する課題に向き合い、組合員の皆様の英知を結集し、積極的に諸対策を講じていくことが、本町農業が今後、持続的に発展していくためには急務であると感じており、理事として微力ではありますが組合員の皆様のご理解と力を賜りながら、他の役員と力を合わせ粉骨砕身努力して参る所存でありますので、宜しくお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

退任のご挨拶



理事 齊藤 正美

春暖の候、組合員の皆様には、ご家族共々ご健勝で農作業にお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

さて、私こと去る4月22日開催の第66回通常総会において任期満了により理事を退任致しました。

平成11年4月に理事に就任以来5期15年間、組合員の皆様をはじめ、役員のご協力と関係機関のご指導、諸先輩方のご助言等をいただき、無事職責を全うすることができましたことに對しまして、心から感謝を申し上げます。

この15年間を振り返りますと、この間、日本経済、農業情勢・農業政策はまさに激変の時代であり、食品流通業界の不祥事や食品の偽装表示などの続発、原発事故による風評被害、牛乳の消費減退による生産調整など、農業に對して非常に厳しい状況の中で、「食の安全・安心」を目標にした取り組みの展開と同時に、「ひろお農業パワーアップ振興計画」に基づく諸対策の実施と組合員の皆様のご努力によって、

管内でも有数の良質乳を生産するまでに至り、あわせて最新技術の導入や規模拡大によって着実に生産基盤の強化が図られてきたことは非常に喜ばしいことであり、改めて組合員皆様の弛まぬご努力に對して敬意を表するところでありました。

また、一方で、規模拡大と合わせて過重労働や労働力不足が大きな問題として浮かび上がってきたなか、その対応策として農作業の分業化を図るべく、ほ畜育成部門の預託事業を立ち上げ、将来に向けた本町農業の分業化システムの足がかりを付けることができ、皆様のご協力により一定の成果を上げることができましたことに對しまして、改めて衷心より感謝を申し上げます。

農業を取り巻く環境は、配合飼料をはじめとする生産資材価格の高騰や現在その行方が非常に懸念されているTPP交渉、農業経営者の高齢化による後継者問題など国内外ともに厳しい状況は続いておりますが、新体制のもと、組合員の皆様をJAに結集し、本町農業が持続的に発展されますこと、組合員・役員皆様のご隆盛とご多幸を心からご祈念申し上げます。就任のご挨拶と致します。

長い期間にわたりご協力とご支援を頂き、誠にありがとうございました。

第36回定期総会開催される



議事では、平成25年度事業報告・収支決算および平成26年度事業計画・収支予算案について説明があり、今年度の事業として、平成24年度より取り組んでいる食育活動の実施や、農業空容器回収など環境に優しい農業の推進、各種団体との交流や町内行事への参加、牛乳や乳製品の消費拡大キャンペーンの協力、十勝地区農協青年部協議会の行事参加による各JA青年部との意見交換や、研修会・勉強会の開催など営農技術向上や部の活性化に伴う議案が提出され、すべて承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、全員一致で新役員を選出し、最後に渡部新部長の閉会挨拶があり総会は終了しました。

2月28日、広尾町農村環境改善センターにおいて第36回JAひろお青年部定期総会が開催されました。
岡田純一部長の開会挨拶の後、来賓の萬亀山組合長、村瀬町長、十勝農業改良普及センター十勝南部支所 中野支所長、十勝地区青年部協議会 寺町会長よりご祝辞をいただき、議事に入

- 新しい役員は次のとおりです。
- 部 長 渡部 広樹
 - 副部長 鈴木 敏文
 - 書記長 佐藤 昌之
 - 理事 重泉 有生
 - 〃 鯖江 裕也
 - 監事 岡田 純一

第23回 酪農部会定期総会

4月14日、第23回JAひろお酪農部会定期総会が広尾町農村環境改善センターにて開催されました。

はじめに上野潤部会長から開会挨拶があり、平成25年度の生乳生産について2件の生産者が生乳生産を中止し、また、8月から9月にかけて高温多湿の状況が乳房炎を増加させるなど厳

しい環境の中、前年を上回る53,537トン（農協事業年度）を生産することができました。

乳価交渉では、プール乳価が70銭の値上げとなりましたが、配合飼料を始めとする生産資材価格が依然として高止まりし、酪農経営を取り巻く状況は依然として厳しく、各生産地で離農が相次いでおり、生乳生産量も減少している中において、生産を維持していくための基盤作りをしつかりと行っていくとともに、消費拡大運動への参加や6次産業化を見据えた視察研修などを参考にしながら今後も酪農経営の維持・発展のために取り組んで参りたいと述べられました。



議事では、佐々木裕隆副部会長が議長を務め、平成25年度事業報告及び収支決算、平成26年度事業計画及び収支予算案など、提出された議案は全て承認され、総会は終了しました。

広尾町農協肉牛部会定期総会



3月8日、第23回JAひろお肉牛部会の定期総会が鮎正で開催されました。門馬部会長の開会挨拶の後、部会長が議長となり議事に入りました。議事では、平成25年度事業報告および収支決算報告があり、また、平成26年度事業計画、収支予算案では各種研修会やイベントへの参加、素牛の商品価値向上を図るための対策を確認し、全員一致で全ての議案が承認され総会が終了しました。

JAひろお年金友の会

第20回 定期総会開催される

4月24日、第20回JAひろお年金友の会定期総会が広尾町農村環境改善センター多目的ホールで開催されました。

はじめに、鯖江義信会長から開会挨拶があり、日頃よりご協力をいただいている会員に対する感謝の言葉を交えながら、平成25年度の活動内容や今年度計画している各種事業の概要等について述べられました。



提出された平成25年度事業報告並びに収支決算、平成26年度の事業計画並びに予算案等は全て承認され、今年度も夏の親睦旅行、秋の観楓会とパークゴルフ大会、冬の観劇温泉湯治を実施することとなりました。

総会終了後には、広尾警察署豊似駐在所の前田巡査部長を講師に最近増えている詐欺や悪質商法に対する研修を行いました。

以前話題になった「オレオレ詐欺」や「還付金詐欺」以外にも「点検商法」や「押し買い」といわれる飛び込み訪問による被害も発生しており、安易に契約を結ばないことや在宅中でも玄関ドアの施錠をするなど日頃から注意することが大切であると説明を受けました。



また、引き続き広尾町健康管理センターの栄養士による食生活に関する研修も行われ、現在広尾町で取り組んでいる食育推進計画に基づいて毎日食べているごはんやパン、野菜や肉・魚などを例にバランスの良い食事で健康で心豊かな食生活を目指すことをお話しされました。

お昼には、懇親会を兼ねたゲーム大会で大いに盛り上がり、皆さんとても楽しまれた様子でした。年金友の会では、会員を大募集しています。入会を希望される方は金融・共済課までお問い合わせ下さい。

第17回 広尾町ジュニアホルスタインショー



4月20日、広尾町乳牛改良同志会主催の第17回広尾町ジュニアホルスタインショーが、JAひろお家畜共進会場にて行われました。

今回は6戸から23頭の未經産牛が出陳され、審査員は上土幌町酪農家の小椋淳一氏、デーリクイーンは田中了牧場の実習生 菊地愛実さんが担当されました。

ジュニアチャンピオンは、佐藤孝一牧場のグランデール ゴールド イルカシヨー チャント ET号が獲得しました。

なお、入賞牛の主な成績は次のとおりです。

ジュニアチャンピオン		
グランデール ゴールド イルカシヨー チャント ET		佐藤 孝一牧場
リザーブチャンピオン		
ノースドリーム ゴールド エレガント ビスタ ET		佐藤 孝一牧場
第1部 チャイルドクラス		
1位	ノースドリーム ゴールド エレガント ビスタ ET	佐藤 孝一牧場
2位	TMF ウツデイ チェリー エクセル ビスタ フタゴ	佐藤 孝一牧場
3位	ラヴリッチ レキシコン クーナ	斉藤 美富牧場
第2部 ジュニアクラス		
1位	セノーファーム デンプシー ベガ ベガ	佐藤 孝一牧場
2位	アーウィンデール ヤナギ キャンデイス ルナー	広瀬 康史牧場
3位	TMF ブロンデイン アレン ゴールド ローリー	佐藤 孝一牧場
第3部 ジュニアミドルクラス		
1位	TMF マチダム チップ アンジー ET	佐藤 孝一牧場
2位	ウイナーマイン リエンダ	山本 勝己牧場
3位	エヌアイファーム ザビエル デブ ET	佐藤 孝一牧場
第4部 ミドルクラス		
1位	ノースドリーム サンチエス リズイー ET	佐藤 孝一牧場
2位	エルムレーン アメイジング エミリア	佐藤 孝一牧場
3位	ドラマチック スパークリング	広瀬 康史牧場
第5部 シニアクラス		
1位	グランデール ゴールド イルカシヨー チャント ET	佐藤 孝一牧場
2位	TMF レナーグリーン GW ファステイ デブラ ET	caw with a mission
3位	アーウィンデール アヤ グレイス リリー	広瀬 康史牧場

第45回

広尾町農民連盟 定期総会開催される



4月11日、広尾町農民連盟の第45回定期総会が、広尾町農村環境改善センターにて行われました。当日は盟友・来賓を含め33名が出席し、綱領の朗唱後、佐々木嘉行委員長より開催挨拶があり、引き続き来賓の村瀬町長、萬亀山組合長、全十勝地区農民連盟 下坂

副委員長からのご祝辞の後、紋別農事組合 岡本宏代議員が議長に選出され、議事に入りました。議事では平成25年度運動報告・収支決算、平成26年度運動方針・収支予算案及び役員の変更が決議され、総会は終了しました。

・新役員

執行委員長	佐々木嘉行 (再)	執行副委員長	折笠 利彦 (再)
執行副委員長	杉田 一司 (新)	執行委員	今村 忠夫 (再)
執行委員	石井 勝也 (再)	執行委員	目黒 希 (新)
代表監事	岡本 宏 (新)	監事	加藤 太朗 (新)

第19回

乳牛ジャツジミングコンテスト



3月26日、第19回乳牛ジャツジミングコンテストが十勝農協連家畜共進会場において、審査員に帯広大正の酪農家 杉浦尚氏を招き開催され、十勝管内か

ら191名が参加、広尾町乳牛改良同志会からも1チーム(4名)と個人1名で参加しました。審査牛は、未經産、2才初産、4才3産の各6頭で、

審査は一般の部とジュニアの部に分かれて行われ、未經産クラスでは山本勝己さんが審査員に選出され審査講評を行いました。一般団体の部は33チームの参加があり、当同志会は2位に入賞、また、一般個人の部では広瀬康史さんが2位に、角倉円佳さんが7位に入賞しました。今回のコンテストで更なる審査技術の向上を図ることができ、とても良い経験となりました。